



みんなの努力の結晶「音楽集会」

昨日14日(木)は、朝から音楽集会がありました。音楽集会は、音楽委員が中心となって、行っています。今回の集会では、6年生が音楽の時間に作った曲を聴かせてくれました。音楽の時間にタブレットの「GarageBand(ガレージバンド)」というアプリを使い、作曲したそうです。子供たちは、「校内放送のいくつかの場面」から一つを選択して、一人一人が、放送場面に合った曲をイメージしながら作りました。今回は3人の子供たちが曲を披露してくれました。1人目は「朝の放送場面」で、朝の静けさをイメージし、滑らかな旋律にしていました。朝の様子を表すために、旋律が急に上がり下がりしないようにして、リズムを少しゆっくりにしたそうです。2人目は「昼休み終わりの放送」で、昼休みが終わって子供たちが教室に急いで戻るようなイメージにしたそうです。急ぐ感じを出すために、マラカスなどを使って工夫したそうです。3人目は「掃除の放送」で、掃除に集中できるようなイメージにしたそうです。掃除に合ったゆったりしたリズムにして、音を上げ下げしたそうです。子供たちのイメージする学校の放送場面には、それぞれに特徴があり「な～るほど!」とイメージに合った作曲に感心しました。これまでは紙面に楽譜を書いたり、それを演奏したりするのはすごく難しいことでしたが、アプリを使うことで子供も取り組みやすくなるなあと、時代の進歩に驚きをもって視聴しました。

感想交流では、2年生の子供は「『帯西グリーン』」の心が伸びました。わけは、みんな素敵な音楽を考えて、流してくれてすごくうれしかったからです。」と述べ、4年生の子供は「『帯西レッド』」の心を感じました。わけは、6年生は勇気をもって演奏していたからです。自分も演奏するときには勇気をもって演奏したいです。」と述べ、6年生の子供は「『帯西レッド』」の心が伸びました。わけは、それぞれの人が、自分の考えた場面とイメージに合った曲を作れたと思ったからです。」と述べていました。そして、司会の子供が感想交流の様子を聞いて、「皆さんの感想と、6年生の発表を聴いて、僕もみんなから素敵な演奏だったと言われるように頑張るようにしたいと思いました。」と感想を返していました。

集会が終わると、今日の発表に携わったみんながエンジンを組んで、振り返りを行っていました。このような小さな努力の積み重ねが音楽集会の質を上げ、全校の子供たちが音楽に親しみ、音楽に対する感性を培ってくれています。

